

2023年12月14日（木）

臨時理事会

会議資料

第 1 号議案

副会長の選定の件

副会長の選定について

定款第21条第3項及び第30条第3号に基づき、副会長を下記のとおり選定する。

■副会長

池坊 専好 華道家元池坊 次期家元
一般財団法人池坊華道会 副理事長

第2号議案

会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件

会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定めることについて

定款第13条第1項、第14条、第32条第1項及び第33条第2項に定める「会長が欠けたとき又は会長に事故あるとき」について、次に掲げる順位により、副会長、事務総長及び副事務総長が会長の職務を執り行う。

■会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序

事務総長	石毛 博行	2025年日本国際博覧会協会 代表理事
副会長	松本 正義	関西経済連合会 会長
〃	鳥井 信吾	関西商工会議所連合会 会長・大阪商工会議所 会頭
〃	角元 敬治	関西経済同友会 代表幹事
〃	塚本 能交	京都商工会議所 会頭
〃	川崎 博也	神戸商工会議所 会頭
〃	小林 健	日本商工会議所 会頭
〃	新浪 剛史	経済同友会 代表幹事
〃	吉村 洋文	大阪府知事
〃	横山 英幸	大阪市長
〃	三日月 大造	関西広域連合長
〃	國部 毅	2025年日本国際博覧会協会 財務委員会委員長
〃	浅川 智恵子	日本科学未来館 館長、IBM フェロー
〃	池坊 専好	華道家元池坊 次期家元 一般財団法人池坊華道会 副理事長
〃	ウスビ・サコ	京都精華大学 前学長／全学研究機構長 人間環境デザインプログラム 教授
副事務総長	小野 平八郎	2025年日本国際博覧会協会 業務執行理事
〃	高科 淳	2025年日本国際博覧会協会 業務執行理事
〃	東川 直正	2025年日本国際博覧会協会 業務執行理事
〃	田中 清剛	2025年日本国際博覧会協会 業務執行理事
〃	櫟 真夏	2025年日本国際博覧会協会 業務執行理事

第3号議案

資金計画（会場建設費）に関する件

資金計画（会場建設費）に関する件

記載のとおり、会場建設費に係る総額2,350億円の資金計画を定めることについて、理事会の承認を求める。

資金計画（会場建設費）

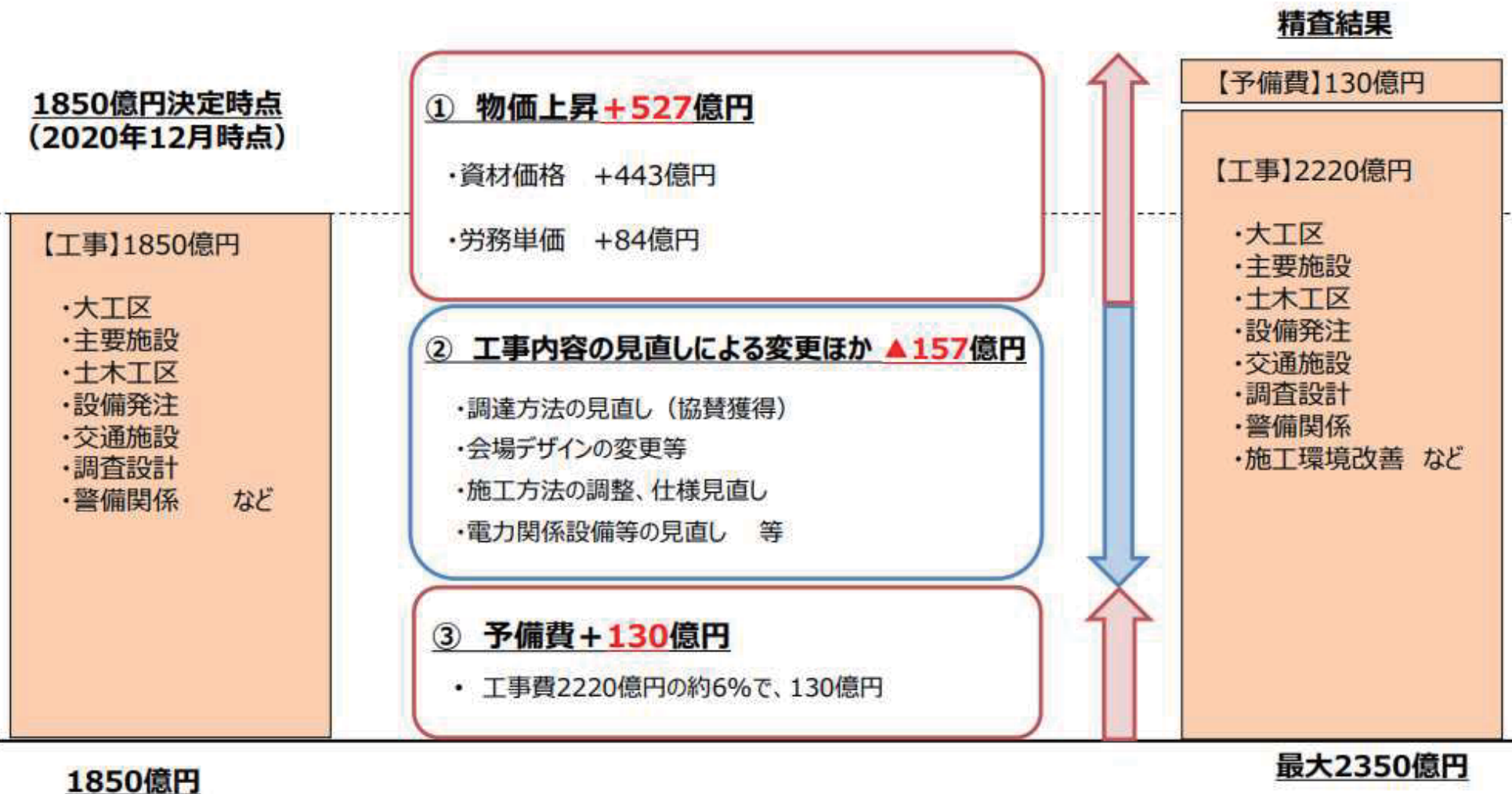
収入（億円）		支出（億円）	
国庫補助金収入	783	施設整備費	1,495
大阪府・市補助金収入	783	基盤・インフラ整備費	725
民間資金等収入	783	予備費	130
会場建設費収入計	2,350	会場建設費支出計	2,350

- 会場建設費予算は、2350億円（2020年12月基本計画 1,850億円から+500億円）
- 施設整備費・・・大工区、大・小催事場や迎賓館などの主要施設の整備に**1,495億円**
- 基盤・インフラ整備費・・・土木工区、インフラ設備、交通設備等の整備に**725億円**
- 予備費・・・予期せぬ万一の事態が生じた場合に備えて**130億円**

博覧会協会における会場建設費の精査結果について

2023/10/20
協会作成

- 会場建設費は、最大2350億円必要。
- 建設価格高騰の影響として527億円の増加。節減努力や施工環境改善等、状況を踏まえた調整により157億円を合理化。また、予備費を130億円措置することとし、合わせて500億円増。



<参考> 日本建設業連合会：建築資材高騰・労務費の上昇等の現状 <2021/1~2023/3>

● 資材費上昇の現状

2021年1月~2023年3月の建設資材物価指数(東京)の推移 (2011年平均=100)



● 労務費上昇の現状



② 工事内容の見直しによる変更ほか (▲157億円)

内訳内容

2023/11/1
協会作成

調達方法見直し (協賛獲得) ▲33.8億円

会場内施設のセルフビルド化 (協賛)	▲ 12.7億円
底質改良の施工範囲の見直し	▲ 8.1億円
会場外駐車場のエリアの見直し	▲ 6.4億円
樹木の協賛調達、府市公園等の樹木の活用	▲ 4.0億円
会場測量 (ドローン) の協賛	▲ 1.0億円
会場内施設撤去の施工範囲の見直し	▲ 1.0億円
パビリオン等の外壁協賛獲得	▲ 0.5億円
サービス施設建物の一部リース化	▲ 0.1億円

施工方法の調整、仕様見直し ▲82.5億円

催事施設等の内外装の仕様見直し、協賛調達等	▲ 33.0億円
園路工事の仕様見直し	▲ 14.5億円
管理棟の面積圧縮、仕様簡素化	▲ 13.0億円
施工事業者との交渉による合理化	▲ 7.5億円
会場外駐車場の舗装範囲・舗装厚の見直し等	▲ 6.6億円
催事施設等の仕様簡素化、面積精査等	▲ 5.0億円
リング上部床のCLT化、EV壁面の仕様変更	▲ 1.5億円
調査業務の見直し	▲ 1.0億円
営業施設等の仕様精査、デザイン簡素化	▲ 0.4億円

見直し削減
▲147.9億円

会場デザインの変更等 ▲1.6億円

展望デッキの取りやめ	▲ 0.5億円
外周トラム車庫の一部取りやめ (協賛)	▲ 0.4億円
管理施設等の一部集約化	▲ 0.4億円
一部空調の取りやめ	▲ 0.3億円

電力関係設備等の見直し ▲30.0億円

電気供給・熱供給設備のBOO化	▲ 28.0億円
特高受変電設備の一部事業者負担化	▲ 2.0億円

施工環境改善 +38.0億円

工事車両動線の整備	+12億円
工事ヤードの整備	+7億円
工事ゲートの整備	+3億円
共通仮設整備	+4億円
仮設電力	+6億円
電力容量増加	+6億円

執行未定分 ▲47.1億円

【注】本ページの内容は、契約後に変更したもののだけでなく、計画段階から費用抑制の観点から見直しを行った内容も含まれます。

会場建設費：精査結果の全体像

2023/11/1
協会作成

案件名	①当初予算	②契約済 (2023.9月末)	③今後の 執行予定	④合計
大工区 (PW3工区、GW工区ほか)	979億円	840億円	360億円	1,200億円
主要施設 (大催事場、小催事場、迎賓館ほか)	253億円	212億円	83億円	295億円
土木工区 (会場基盤整備)	122億円	99億円	33億円	132億円
インフラ設備 (電気・熱供給・通信・警備設備)	269億円	201億円	77億円	278億円
交通施設 (会場外駐車場等整備)	115億円	60億円	114億円	174億円
環境評価、委託関係	66億円	52億円	5億円	57億円
施工環境整備※	46億円	-	84億円	84億円
合計	1,850億円	1,464億円	756億円	2,220億円

※大工区の契約の中に含まれるものを個別表記

⑤予備費：④ (2,220億円) の約6% = **130億円**

合計 (② + ③ + ⑤) : **2,350億円**

第4号議案

2025年日本国際博覧会寄付金募集基本
方針の件

2025年日本国際博覧会寄付金募集基本方針について

本協会は、本博覧会の開催、成功に向けて、資金調達に関する業務を円滑に推進するために、各地経済団体、業界団体等の協力を得て、企業、団体、個人からの支援を募る。寄付金募集目標額について、会場建設費総額2,350億円の3分の1程度にあたる783億円とする。

2025年日本国際博覧会 寄付金募集基本方針(案)

1. 目的

本博覧会の開催、成功に向けて、資金調達に関する業務を円滑に推進するために、各地経済団体、業界団体等の協力を得て、企業、団体、個人からの支援を募る。

2. 実施機関

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

3. 依頼対象

パビリオン出展、施設・事業参加の有無に関わらず企業、団体、個人に幅広く支援を求める。

4. 目標額

会場建設費総額2,350億円の3分の1程度^{*1}にあたる783億円とする。

※1 次頁参照

5. 依頼額

法人、団体の事業規模等を総合勘案し、決定する。

6. 募集期間

2020年2月～2025年10月（予定） *複数年分割入金も可能

7. 税制優遇措置

・企業／団体

特定公益増進法人に対する税制優遇に加え、全額を損金算入可能な「指定寄附金」として指定が受けられるよう努める。

*現時点での指定期間は、2020年1月20日から2024年1月19日まで※2。

（令和5年1月18日付財務省告示第十八号） ※2 以降延長申請予定。

個人

寄附金控除の対象となることを周知し、個人からの寄付を促進、対応を行う。

8. 依頼方法

- ・ 企業ならびに団体に対して、協会より依頼を行うことを基本とする。
- ・ クラウドファンディング等も活用し、幅広く寄付金を募る。

9. その他

- ・ 寄付者に対して、適切な形で謝意を表明する。

※1 参考

①「大阪府における2025年国際博覧会の立候補及び開催申請について」(平成29年4月11日閣議了解)(抜粋)

～略～ 国際博覧会の立候補及び開催申請を行うにあたり、国・関係地方公共団体・民間が協力して、その準備を進めるものとし、現下の厳しい財政事情を踏まえ、以下の方針を確認する。

1. 2. (略)

3. 会場建設費については、建設費総額に占める補助対象事業の割合を3分の2程度とし、残余の部分は民間資金等による対応するものとする。補助対象事業の部分については、国と関係地方公共団体が同率の割合で負担するものとする。

4. 以下 (略)

②「登録申請書第6章 資金計画」(令和元年12月20日閣議決定に基づき同月27日に博覧会国際事務局(BIE)に提出。協会による仮訳)(抜粋)

～略～

6.2.2 財源

・会場建設費の財源は、2017年4月の閣議了解に基づき、日本国政府、地元の地方自治体、民間資金等が、会場建設費1,134百万米ドルをそれぞれ3分の1ずつ負担することが決定している。

・合計金額は、具体的な会場計画や物価変動などの今後の事情変更を踏まえ、今後、精査が必要である。

以下(略)

(英語原文)

6.2.2 Source of Funds

In accordance with the approval made at the Cabinet Meeting in April 2017, the construction expenses of USD 1,134 million will be split into thirds and each third assumed by the Government of Japan, the local governments, and funds from private sector and others.

This total amount will need to be reviewed to allow for actual site planning, price fluctuations, and other eventualities.

以上

第5号議案

指定寄附金の指定申請の件

所得税法第七十八条第二項第二号の特定寄附金及び法人税法第三十七条第三項第二号の指定寄附金の指定申請について

本協会は、昨年度に引き続き、所得税法第七十八条第二項第二号の特定寄附金及び法人税法第三十七条第三項第二号の指定寄附金の指定を受けるため、今年度、告示の日以降1年間の指定寄附金の募集目標額を、財務大臣へ申請を行う。

【参考】

「所得税法」

第七十八条（寄附金控除）

2 前項に規定する特定寄附金とは、次に掲げる寄附金（学校の入学に関してするものを除く。）をいう。

一（省略）

二 公益社団法人、公益財団法人その他公益を目的とする事業を行う法人又は団体に対する寄附金（当該法人の設立のためにされる寄附金その他の当該法人の設立前においてされる寄附金で政令で定めるものを含む。）のうち、次に掲げる要件を満たすと認められるものとして政令で定めるところにより財務大臣が指定したもの

イ 広く一般に募集されること。

ロ 教育又は科学の振興、文化の向上、社会福祉への貢献その他公益の増進に寄与するための支出で緊急を要するものに充てられることが確実であること。

「法人税法」

第三十七条（寄附金の損金不算入）

内国法人が各事業年度において支出した寄附金の額（次項の規定の適用を受ける寄附金の額を除く。）の合計額のうち、その内国法人の当該事業年度終了の時の資本金の額及び資本準備金の額の合計額若しくは出資金の額又は当該事業年度の所得の金額を基礎として政令で定めるところにより計算した金額を超える部分の金額は、当該内国法人の各事業年度の所得の金額の計算上、損金の額に算入しない。

3 第一項の場合において、同項に規定する寄附金の額のうち次の各号に掲げる寄附金の額があるときは、当該各号に掲げる寄附金の額の合計額は、同項に規定する寄附金の額の合計額に算入しない。

一（省略）

二 公益社団法人、公益財団法人その他公益を目的とする事業を行う法人又は団体に対する寄附金（当該法人の設立のためにされる寄附金その他の当該法人の設立前においてされる寄附金で政令で定めるものを含む。）のうち、次に掲げる要件を満たすと認められるものとして政令で定めるところにより財務大臣が指定したものの額

イ 広く一般に募集されること。

ロ 教育又は科学の振興、文化の向上、社会福祉への貢献その他公益の増進に寄与するための支出で緊急を要するものに充てられることが確実であること。

第6号議案

協会財産処分のうち譲渡（リユース）の基本的な考え方の件

協会財産処分のうち譲渡（リユース）の基本的な考え方について

協会における財産の処分にかかる業務を適切に実施するため、譲渡（リユース）の基本的な考え方について理事会の承認を得る。

【背景】

- 会期後、会場内の建築物等は解体撤去されたあと、一般的にはリサイクルや焼却・埋め立てになるが、政府の基本方針である3R+Renewableを踏まえ、リサイクルよりもリユースを推進していくことを「EXPO 2025グリーンビジョン」において基本的な考え方として示している
- リユースのためには、予め譲渡先との調整が必要となるが、その前に入札の方法、価格の決定、使用目的の在り方等を決め、公募手続きを経る必要がある
- 国や大阪府市より補助金で支援いただいている協会財産を譲渡するためには、入札の方法等の決定にあたり、これまでの過去博の要綱を参考にしつつ、国や大阪府・市の財産処分の考え方と調整をし、方針を定める必要がある（国や大阪府・市とは補助金の適正な執行という観点から確認済み）

【目的】

- 協会財産の譲渡（リユース）について、ルールを作るための方針を固める必要がある
- 過去博の要綱を参考に、よりリユースし易いルールを作ることで、廃棄物やGHG（greenhouse gas）排出量を削減し、資源循環の社会の構築に寄与する

協会財産処分のうち譲渡（リユース）の基本的な考え方について

【基本的な考え方】

1. 財産の処分は、返却を除き、有償譲渡、無償譲渡※1、解体撤去又は廃棄※2とする
2. 譲渡先は公募入札により決定するが、より多くの人に博覧会資産を還元すべきと考え、公共団体での利用を優先させる
公共団体は4つのカテゴリーに分け、競合した場合の優先順位を次の通りとする
大阪府市・国 > 大阪府市以外の地方自治体 > 独立行政法人 > 準公共※3 > 民間等

なお、同じカテゴリー内で競合した場合は、譲渡先での使われ方等を評価し、判断
3. 公募時の最低価格については、過去博('70年大阪万博、'05年愛知博)と同様、残存簿価を基準として使用状態等を勘案し割り引く

※1 無償譲渡できるものは、地方自治体（大阪府市を含む）が地域再生計画に規定し、国が承認したもの等に限る

※2 EXPO 2025グリーンビジョンで、施設設備類のリサイクル目標を設定している

※3 準公共：財務省通達を参考に公益法人、社会福祉法人等とする

【基本的な考え方】

4. 過去博(愛知博)での運用を踏襲し、協賛による資産は、譲渡先に関して協賛者の意向を反映することができるものとする
5. 協会内に外部専門家も含めた財産処分委員会を設置し、処分事務の客観的な審査を実施する
譲渡先については協会内決裁により決定することとし、また補助金によるものに関しては国・大阪府・大阪市の承諾を得る必要がある

協会財産処分のうち譲渡（リユース）の基本的な考え方について

参考資料

■今後のスケジュール（予定）

(1) PHASE 1：2023年度～

施設単位の公募（シグネチャーパビリオン8棟、若手建築家施設20棟を皮切りに、順次他の施設も対象とする）を2段階（先発：自治体他、後発：民間）で実施

(2) PHASE 2：2025年1月頃

マッチングプラットフォーム（MPF）は運営参加の協賛者と共同でシステムを開発し、運営していく。

協会資産に限らず、会場内の他の事業者にも利用できる仕組みにすることを目指す。

施設・建材・設備機器等、取り外しに工事が必要なものを対象とするため、リユース対象物の解体には準備が必要。

（例：解体工事費の算出、手ばらしの職人手配、買い手に輸送するための業者手配など）

(3) PHASE 3：2025年10月頃

閉会時に残った什器備品（引越し業者で回収できる大きさのもの）を、マッチングプラットフォームにて公募。



第7号議案

共同館の展示工事・運営の発注の件

共同館の展示工事・運営の発注について

途上国支援の中で実施する「共同館の展示工事・運営」にかかる業務の発注について、理事会の承認を求める。なお、契約結果については、理事会に報告する。

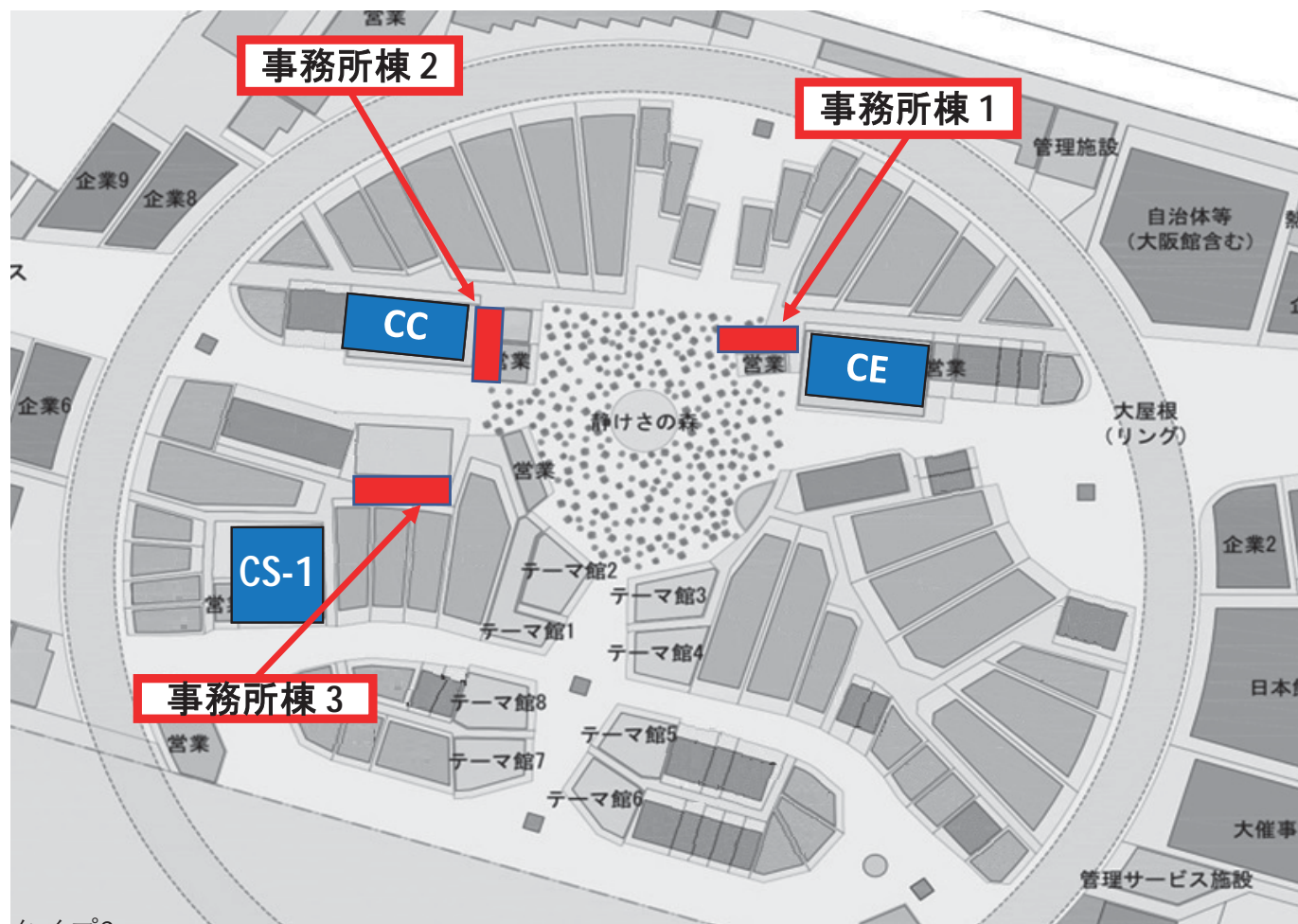
項目	内容
案件名称	共同館の展示工事・運営にかかる発注について
案件概要	途上国支援対象国が展示する予定の共同館3館について、展示スペースでの展示内装工事及び共同館の運営を2024年度に実施する。
事業内容	【展示工事】 展示工事、設備・機器の設置、施工物への保険、映像制作 【運営】 施設運営、アテンダント配置・警備・清掃にかかる募集・研修等
事業者選定の方式 及び スケジュール	「プロポーザル方式（公募型企画提案方式）」 理事会承認後、2024年3月～4月に契約締結予定
契約期間	2024年3月または4月～2025年3月31日

途上国出展支援に関する経済産業省からの受託契約（2024年度実施分）の締結をこの発注・契約の条件とする。

(参考) 共同館 3 館の配置

参考資料

今回の業務発注の対象となる途上国支援対象の共同館とは、以下、CC（仮称）、CE（仮称）、CS-1（仮称）の共同館 3 館及び付属する事務所棟の 3 棟。



CC ConnectingゾーンにあるタイプC
CE EmpoweringゾーンにあるタイプC
CS-1 SavingゾーンにあるタイプCのうちの1館

第8号議案

大阪・関西万博安全確保事業の受託の件

大阪・関西万博安全確保事業の受託の件

「大阪・関西万博安全確保事業」（経済産業省）について、令和5年度補正予算（後年度負担を含め、合計約199億円）を上限として、会場内の安全確保業務を日本政府より受託するため、理事会の承認を得たい。なお、当初の契約額は約174億円とする。

項目	内容
案件名称	「令和5年度補正 大阪・関西万博安全確保事業」（経済産業省）の受託に係る契約について
案件概要	2025年大阪・関西万博の成功に向けて最も基本的かつ重要で、インフラともいえる安全確保につき、近年の警備事案や事故を踏まえて万博誘致当初よりも高い水準が求められている。 よって、万博会場内の安全確保に万全を期すことを目的とし、会場内の安全確保業務を日本政府より受託のうえ、協会がこれを実施する。
契約先	経済産業省
受託期間	2024年1月～2025年度
契約種別	業務委託
スケジュール	2023年12月末に契約を締結予定

報告事項 1

大阪・関西万博の機運醸成活動に関する件

機運醸成の取組み

3つのPR重点期間

○開幕に向けPR重点期間を3回設定し、集中的に機運醸成に取り組む。

① **2023年10～12月(開幕500日前)**

11月30日の前売チケット発売開始時

② **2024年9～11月(開幕半年前)**

来場日予約、パビリオン抽選予約の開始時期

③ **2025年3～5月(開幕直前・直後期)**

開幕500日前イベント 協会主催メディア向けイベント（東京 虎ノ門）

- 十倉会長挨拶、岸田内閣総理大臣ビデオメッセージ、西村経済産業大臣挨拶ののち、タレントと石川プロデューサーを交えて万博の魅力や入場チケットの情報等を発信。60媒体121名の報道関係者が取材に訪れた。
- 17時から東京タワー、東京スカイツリーで万博にちなんだ赤・青のライトアップを実施。
- 東京タワーではミyakミyakの撮影会を行い、100名を超える方々が集まった。
- 当日の様子や入場チケット販売の情報が、ニュースや情報番組で多く取り上げられた。



十倉会長



岸田内閣総理大臣ビデオメッセージ



西村経済産業大臣



十倉会長、石毛事務総長、石川プロデューサー、
スペシャルサポーター：FANTASTICS
ゲスト：ファーストサマーウイカ
ファシリテーター：国山ハセン、MC:政井マヤ（敬称略）



開幕500日前イベント

入場チケット販売開始イベント（名古屋・大阪・品川）、大阪でのイベント

□入場チケット販売開始イベント（名古屋・大阪・品川）

- 入場チケット販売開始（11/30）に合わせて、開催地である大阪、人口集積エリアである東京、名古屋のターミナル駅においてイベントを開催。
- 万博のマップやパビリオン情報の展示を基本とし、名古屋駅ではステージでの演出を実施。
- イベントの様子をSNSで広く日本全国、世界へ発信。（SNSフォロー各所 約1,000人）
- 当日の様子や入場チケット販売の情報が、ニュースや情報番組で多く取り上げられた。

【名古屋駅】



【大阪駅】



【品川駅】



□大阪来てな！万博開催500日前イベント（大阪府・市等主催）

- ◆ 場所：NHK大阪ホール
- ◆ 主催：大阪来てなキャンペーン実行委員会（大阪府・大阪市・大阪観光局）
- ◆ 参加方法：一般募集・無料
- ◆ 出演：片岡愛之助、コブクロ、フットボールアワー、ミルクボーイ、アバンギャルディ、大抜卓人、福本愛菜 他（敬称略）

広報発信コンテンツの展開

■ 広報発信コンテンツ（サイネージ、ポスター等による露出）

- ◆ サイネージ 東京、大阪をはじめ各地主要駅等で展開
- ◆ ポスター（約10万枚）、チラシ（約33万枚）、ステッカー（約42万枚）
卓上POP三角柱（約10万枚）を展開 [11月30日現在]

東京駅（丸の内）



大阪駅御堂筋口屋外



大阪市 道頓堀



愛知県一宮市国道155号線



博多駅筑紫口



東京 渋谷駅前スクランブル交差点



大阪 本町駅



松山駅



ビルラッピング



大阪駅ビルEXPO2025ラッピング

テレビCMの実施、新聞広告の掲載

【テレビCM(15秒)】

放送期間:2023年11月30日(木)~12月31日(日)

〈テレビ大阪のみ2023年11月30日(水)~24年1月31日(水)〉

メインターゲット層である「29歳~39歳子育てファミリー」へのリーチを重視



地区	局
関東	日本テレビ(NTV)
	テレビ朝日(EX)
	TBS(TBS)
	フジテレビ(CX)
	テレビ東京(TX)
関西	読売テレビ(YTV)
	朝日放送テレビ(ABC)
	MBS毎日放送(MBS)
	関西テレビ放送(KTV)
	テレビ大阪(TVO)

【新聞広告】

11月30日 五大紙、全国版に掲載

くるぞ、万博。

本場日本でも早く利用できる
超早割1日券が
おトク!!
予約1日券のみ
がご利用いただけます。

本場でも
開幕券が
おトク!!

本場でも
開催期間中
過期バス
おトク!!

本場でも
公開記念
抽選プレゼント
企画!!

前売チケット
販売開始

前売が断然、お得。入場チケット 販売開始 2023.11.30(木)

種別	チケット名	概要	大人 標準料金	小人 標準料金	小人 優待料金
前売チケット	前売券	2023年11月30日(木)~2024年1月31日(水)まで有効	4,000円	2,200円	1,000円
	前売券	2023年11月30日(木)~2024年1月31日(水)まで有効	5,000円	3,000円	1,200円
	超早割1日券	2023年11月30日(木)~2024年1月31日(水)まで有効	6,000円	3,500円	1,500円
	早割1日券	2023年11月30日(木)~2024年1月31日(水)まで有効	6,700円	3,700円	1,700円
	遅割バス	2023年11月30日(木)~2024年1月31日(水)まで有効	12,000円	7,000円	3,000円
当日券	特別割引券	2023年11月30日(木)~2024年1月31日(水)まで有効	3,700円	2,000円	1,000円
	一般券	2023年11月30日(木)~2024年1月31日(水)まで有効	7,500円	4,700円	1,800円
	学生券	2023年11月30日(木)~2024年1月31日(水)まで有効	6,000円	3,500円	1,500円
当日券	2023年11月30日(木)~2024年1月31日(水)まで有効	3,700円	2,000円	1,000円	

開催期間 2025年4月13日(日) - 10月13日(月) 開催場所 大阪 夢洲

チケット購入はこちらから

公式販売サイト、または旅行代理店や各種プレイガイドから購入できます。

遊園チケット

OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

くるぞ万博

公式Webサイトリニューアル

2023年11月30日にトップページデザインを刷新し、入場チケット販売開始に合わせた機運醸成と、購入への確実な導線を準備。その後開幕に向け順次コンテンツを拡充していく。

BtoBからBtoCへの転換、多様性に配慮した構成を意識し、国際博覧会にふさわしいサイトデザインを実現する。

【現行サイト】



【リニューアルイメージ】



【新トップページの構成】

- ① 各コンテンツを“行動”でまとめ(ENJOY・VISIT・JOIN)、訪問者が情報を探しやすい構成に。
- ② ファーストビューに「チケット購入」ボタンを配置。
- ③ ミャクミャクがプラカードを持った写真等を日替わり(週替わり)で掲載し、開幕までのカウントダウンを表示。
- ④ Webの情報構成を分かりやすくトップページに示す「Bento UI」(お弁当箱のように各ページを表示)を採用。少ないクリック数で目的のページへ到達できる構成に。

【イラストマップの制作】

万博会場を来場検討者がわくわくするイラストマップで表現。

- ・国内パビリオンは建築デザインをイラストで再現
- ・クローズアップ機能で会場を楽しめる
- ・空飛ぶクルマなど未来のモビリティが動くアニメーション
- ・ユーモラスな人物表現、昼間・夕景バージョン 等

【多言語対応】

日・英をもとに、仏・西・中(繁体字・簡体字)・韓にも自動翻訳で順次対応予定。

SNSでの情報発信／参加国等からの情報発信

■SNSでの情報発信

- 現状は1日あたり約5投稿とリポスト等を実施。ミyakumiyakuの日記(イベント出演、各地訪問)やパビリオン紹介といった万博関連投稿の他、〇〇の日や地域紹介等の投稿、また短編動画として「万博紹介銀シャリ編」のSNS投稿を実施。
- 開幕500日前には、チケット販売開始までのカウントダウンや、11/30当日の関連イベント投稿、またInstagram上でミyakumiyakuと写真や動画が撮れる公式ARフィルター「ミyakumiyakuフィルター」の提供を開始し、若い世代へのアプローチを図った。
- 今後、SNSを活用した更なる認知拡大・話題喚起の仕掛けを検討。

■参加国等からの情報発信

- 各国のコンセプト・パビリオン発表内容を協会公式HPおよびSNS等で発信。
- 各国の日本国内で開催される記者会見等イベントのメディア向け発信(要望に応じて個別取材をアレンジ)。
- 各国政府代表メッセージを公式HP・SNS発信等(IPM時に全体集合写真にメッセージ、個別インタビュー動画制作等)。
- 在日大使館・領事館との連携(ナショナルデーイベント等での万博PR)。
- 500日前(11月30日)に各国一斉万博PRのSNS発信。

各地でのPR例

(2023年10月～12月主な動き)

松本委員長による各地でのPR



四国経済連合会でのPR (10/13・香川県)

「OHK岡山放送」、「RSK山陽放送」
ニュース放映

「読売新聞」「電気新聞」掲載

中国経済連合会でのPR
(10/12・広島県)

「中国新聞」掲載



東北経済連合会でのPR (10/18・宮城県)

「河北新報」取材

経団連による各地でのPR



北陸地方経済懇談会でのPR (11/27・石川県)

四国地域経済懇談会でのPR (12/6・高知県)

吉村大阪府知事による各地でのPR

11/13～14 岩手県・宮城県

「北海道東北地方知事会」
での呼びかけ(岩手県)



岩手朝日テレビ
「スーパー」チャンネルいわて」



岩手朝日テレビ「GO!GO!いわて」
(放映11/18,25)

「岩手日報」インタビュー

東日本放送「チャージ」出演(宮城県)

11/7 福井県・石川県

「近畿ブロック知事会」での呼びかけ
(福井県)

「北國新聞」インタビュー(石川県)

北陸朝日放送「ふむふむ」出演
(石川県)



中部経済連合会でのPR
(11/6・愛知県)



10/25 長野県

「関東地方知事会」での呼びかけ

「信濃毎日新聞」インタビュー

テレビ信州「ゆうがたGet!」出演



11/13 東京都

「全国知事会 万博推進本部」での呼びかけ

※9月までに北海道、九州にも
訪問済み

公式オフィシャルストアオープン

近鉄あべのハルカス店、大丸梅田店に続き3号店、4号店オープン

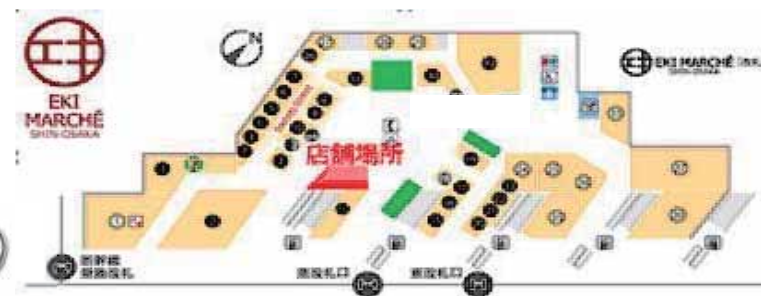
2025 大阪・関西万博オフィシャルストア
丸善丸の内OAZO店 オフィシャルストア3号店(東京1号店)
オープン

- 開店日：2023/11/22(水)～
- 場所：東京・丸の内オアゾ内 丸善丸の内OAZO店
- 公式ライセンス商品全般
EXPO2025 ブックカバーやEXPO2025 しおりなどを販売



2025大阪・関西万博オフィシャルストア
JR新大阪駅 エキマルシェ店 オフィシャルストア4号店オープン

- 開店日：2023/11/29(水)～
- 場所：エキマルシェ新大阪(改札内) エキハコ
- 公式ライセンス商品全般
「大阪・関西万博ラッピング列車」デザイン商品などを販売



スペシャルサポーターの拡充 ①

- 万博情報発信の加速のためスペシャルサポーターを拡充。著名人・有名タレント・人気キャラクターに加え、SNSインフルエンサー等を拡充していく。
- 10月以降の就任者



【QuizKnock】

(クイズノック)

2023年10月10日就任

QuizKnock (クイズノック) は、東大クイズ王・伊沢拓司氏が中心となって運営する、エンタメと知を融合させたメディア。「楽しいから始まる学び」をコンセプトに、何かを「知る」きっかけとなるような記事や動画を毎日発信中。YouTubeチャンネル登録者数は211万人を突破。(2023年10月時点)



【ぺえ】

2023年10月24日就任

1992年4月22日生まれ。山形県出身。2015年4月に上京し、原宿竹下通りのアパレルショップ『W♡C』の店員となり、ティーンを中心にカリスマ的な支持を受ける。現在YouTubeチャンネル『ぺえ』では自然体で飾らないありのままの言葉が幅広い世代に好評。ツインプラネット所属。



【帆船BLUE OCEANみらいへ】

2023年10月24日就任

大航海時代に活躍した帆船は、風を動力として航行する際には動力に関わる二酸化炭素排出量はゼロであり、確立されたカーボンニュートラルの技術が歴史と共に詰め込まれた船です。帆船みらいへは、一般の方が自由に乗船可能な日本で唯一の帆船で、一般の方が手軽に乗船し宿泊体験等をすることができます。



【ハローキティ】

2023年11月27日就任

ハローキティは、株式会社サンリオの人気キャラクターで、2024年に50周年を迎えます。今年11月から2024年12月31日までの期間を「50周年アニバーサリーイヤー」とし、「Friend the Future. 未来と友だちになるう。」をテーマに活動しています。

© 2023 SANRIO CO., LTD. 著作 (株) サンリオ

スペシャルサポーターの拡充 ②

【THE RAMPAGE】（ザ ランページ） 2023年11月30日就任



2014年に開催されEXILE新メンバーが決定した「EXILE PERFORMER BATTLE AUDITION」、ボーカリストへの夢を持つ若者が集った「VOCAL BATTLE AUDITION 4」、世界の舞台での活躍を目指す若き精鋭が参加した「GLOBAL JAPAN CHALLENGE」、これら3つのオーディションを通じて選ばれた16人組ダンス&ボーカルグループ。

「RAMPAGE=暴れ回る」と名付けられたこのグループは、その名のごとくステージを踊り暴れるHIPHOPテイストのパフォーマンスが一番の魅力。

【FANTASTICS】（ファンタスティックス） 2023年11月30日就任



EXILEの想い・信念を受け継ぐダンス&ボーカルグループ。EXILE TRIBEの新グループとして、EXILEの世界・佐藤大樹をリーダーに、パフォーマー集団として2016年12月29日に結成。ボーカルは「EXILE Presents VOCAL BATTLE AUDITION 5～夢を持った若者達へ～」で約3万名の応募者の中から勝ち上がった八木勇征・中島颯太。各個人としてもグループとしても着々と活動の場を広げ、更なる成長を目指す今、注目のダンス&ボーカルグループ。

【BALLISTIK BOYZ】（バリスティック ボイズ） 2023年11月30日就任



EXILE TRIBE初のメンバー全員がマイクを持ち、ダンス、ボーカル、ラップを披露する実力派の7人組グループ。2022年8月から半年間、タイに拠点を移して武者修行を敢行、今年2月にリリースした「Drop Dead feat. TRINITY」8月にリリースした「All I Ever Wanted feat. GULF KANAWUT」は2作連続でタイの主要チャート T-POPチャートTOP5入りを果たした。国内に留まらず、海外展開を視野にいれて活動している“世界基準”ボイズグループ。

【PSYCHIC FEVER】（サイキック フィーバー） 2023年11月30日就任



LDHが運営するダンススクール“EXPG STUDIO”の精鋭が全国から集まった7人組のグループ。結成当初からも目標である、日本はもちろん世界に通用するグローバルアーティストを目指し、2022年8月から半年間、タイに拠点を移して武者修行を敢行、今年9月にリリースした「FIRE feat. SPRITE」が4週連続でタイの主要チャート T-POPチャートTOP5入りを果たすなど、着実に存在感を示している。

報告事項 2

催事に関する件

催事の現況について

報告事項① 催事検討会議及びスケジュール

【スケジュール】

- **11月24日 第3回催事検討会議**（14-16時@グランキューブ大阪 終了後：記者会見）
（議案）現在の催事のエントリー状況、開会式の現プラン（現構成）、
協会協力催事について など

- 11月30日 公式参加者のナショナルデー/スペシャルデー（ND/SD）の優先申込期間終了
ND/SDは2次募集として継続申込受付（12月1日から）。

- 12月31日 一般参加催事の募集終了
※2024年1月から、有識者で構成される審査委員会にて選考を開始。

- **1月 第4回催事検討会議（予定）**
（議案）第1次催事カレンダー編成案、一般参加催事の応募状況 など

- **1月 第1次催事カレンダー編成**
※11月30日までに申込があったナショナルデー/スペシャルデーや、その他催事を編成

- **3月 第5回催事検討会議（予定）**
（議案）第2次催事カレンダー編成案、公式参加者からの新規申し込み など

- **4月 第2次催事カレンダー編成**
※現在募集中の一般参加者催事を編成

催事の現況について

(参考資料) 催事の種類

	分類	実施主体	内容
公式行事	開会式、閉会式	2025年日本国際博覧会協会	博覧会の開幕や閉幕を祝う式典。
	ナショナルデー (ND) スペシャルデー (SD)	公式参加者 (公式参加の国・地域・国際機関)	公式参加者の参加を称える日。 公式参加者が国内外の賓客を招いて行う式典。
	BIEデー	博覧会国際事務局 (BIE)	閉会前日にBIEが行う式典。
主催者催事	協会企画催事	2025年日本国際博覧会協会 (催事企画プロデューサー)	博覧会催事の中核として、博覧会テーマを体現する催事。
	シグネチャーイベント	2025年日本国際博覧会協会 (テーマ事業プロデューサー)	8名のテーマ事業プロデューサーが行う催事。

	分類	内容
参加催事	一般参加催事	一般に公募して行う催事。
	公式参加者自主催事	公式参加者が自主的に行う催事。
	省庁連携催事	省庁が中心となって実施する催事。
	自治体参加催事	都道府県などが中心となって実施する催事。
	出展者参加催事 (パビリオンデー)	民間パビリオン出展者が実施する催事。
	協会協力催事	博覧会に必要な催事を実現するため、協会より協力要請を受けた外部団体等が行う催事。

報告事項 3

2025年日本国際博覧会 ペット同伴来
場検討の件

検討実施の背景

- 2025年大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」、全てのいのちを大切に作る共生社会の実験場として初めての試みとなる『会場へのペット同伴』の可能性について検討を実施
- 有識者で構成する検討委員会を設置し
 - ・会場運営面等における各種課題と対応策
 - ・来場者や関係者の理解促進に向けた方策などの課題について検討

◎現在、万博で初めての試みとなる『会場へのペット同伴』の可能性について検討中

報告事項 4

I P M 2 0 2 3 秋の開催結果概要報告の件

IPM2023 秋 の開催結果について

1. 会議名称

国際参加者会議2023年秋

(International Participants Meeting 2023 Autumn／略称：IPM2023秋)

2. 開催日程

2023年11月14日、15日

於：大阪府立国際会議場

3. 会議の性格と目的

公式参加者（参加表明済みの国・機関※予定含む）を対象とした、博覧会参加に係る計画説明と議論

4. 参加者

約500名（約150ヵ国・7機関の国際博覧会責任者）

5. 会議内容

- 万博テーマへの理解を深めるための特別セッション
- パビリオンの内外装や展示工事、運営準備、催事計画などの各種ガイダンスと質疑応答
- 様々な分野での個別相談窓口（ワンストップショップ）の開設



参加者代表集合写真（11月14日）

掲示しているバナーは、公式参加者の発案により、参加者全体で一丸となったメッセージを発信するために作成

IPM2023 秋 の開催結果について

ポイント① 大阪・関西万博を開催する意義の再確認

- 出展準備が本格化するにあたり、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を改めて深掘り。
- 多様性の中の調和の必要性を、プロデューサーや子どもたちを交えた複数の特別セッションを通じて発信、共有認識を醸成。



ポイント② 2日間に渡るきめ細かな情報提供

- 各種運営ガイドラインや準備スケジュール等、合計26項目で協会担当部局が参加者に説明・密な質疑応答。
- 途上国支援及びABCの出展タイプ毎に分科会を開催。
- 延べ70の行政機関・事業者の参加を得て、13の分野で個別相談に対応するワンストップショップ（OSS）を設置。600件を超える幅広い相談に対応。



- 25ヵ国が新たに参加契約を調印。
- 関西広域で自治体・団体と連携した15コースのエクスカージョン、約200名が参加。
- 会場で関西広域の地域紹介等のPR展示設置、積極的な広報発信。



IPM2023 秋 の開催結果について

参考：IPM実施計画



2025年「大阪・関西万博」開催に向けたプラン

会期までに全4回開催予定。

うち「企画会議」を2回

「参加国会議」を2回予定

2023年春 IPM(Planning)

タイプBC出展検討国・機
関向けの企画会議として
約190名が参加

2022年秋 IPM(Planning)

初のIPMとして100ヵ国
以上から約230名が参加

2023年秋 IPM(Participant)

- 最初の公式参加者会議
(約500名が参加)
- パビリオン設置に向けた
各種実務課題に関する説
明と討議
- タイプ毎の分科会
- 関係機関・事業者と連携
したワンストップショッ
プによる個別相談
- PR展示とエクスカーショ
ンによる地域紹介

2024年 IPM(Participant)

- 最後の公式参加者会議
- パビリオン設置に向けた
各種実務課題に関する説
明と討議
- 会期本番に向けた運営体
制の構築

報告事項 5

海外パビリオンの状況の件

海外パビリオンの状況について

◇ 海外パビリオン（タイプA）の現状及び今後の見通し

- タイプAパビリオン参加国については、12月1日現在で、施工業者が既に決定（内定）した国は30ヶ国。
- また、タイプXを選択した国は2ヶ国、タイプXに関心を有する国は数ヶ国程度、タイプCへ変更した国が2ヶ国、不参加を表明した国が2ヶ国（いずれも財政問題に起因する国内事業が理由）となっているところ。
- この他の参加国については、概ね、タイプAで参加することを目指しているもののその状況は様々であり、今後、政府・BIEと連携しつつ、タイプAあるいはタイプXパビリオンでの出展支援を行っていくことを模索していく。
- なお、12月1日現在で、協会への第1回提出書類（基本設計書）の提出は25ヶ国、大阪市への基本計画書の提出が13ヶ国、うち仮設許可が行われたのは7ヶ国である。
- 敷地の引き渡しについて、11月16日にトルクメニスタン、11月27日に中国に引き渡し。現在、十数か国と日程等について調整中。

海外パビリオンの例

カナダ館



在日カナダ大使館提供（2023年10月30日公表）

イタリア館



General Commissioner's Office of Italy for Expo 2025 Osaka
(2023年11月6日公表)

ドイツ館



(c) MIR_LAVA_facts and fiction（2023年5月22日公表）

ルクセンブルグ館



©STDM architects（2023年9月15日公表）

展示内装への対応

◇ I P Mにおける公式参加者と展示内装事業者との個別相談会

- 2023年11月のIPM（国際参加者会議）開催時に実施。
事業者からは自社の強み、参加国からは展示テーマやコンセプトを説明。
＜結果概要＞
のべ相談件数：155件
参加国数：41ヶ国・機関
参加した展示内装事業者数：32事業者

◇ 展示内装事業者への説明会

- 展示内装事業者などを対象に、海外パビリオンの準備状況等を説明。
質疑応答では、駐車場の台数や料金、バスの運行本数や時間帯、現場での通信状況、事務所棟の利用など今後の建設工事作業に関わる事項等について、実務的な質問が多数寄せられた。
＜結果概要＞
大阪：12月1日（金）事業者数：45事業者
東京：12月4日（月）事業者数：40事業者

◇ 今後の予定

- 海外パビリオンに展示内装に関心のある事業者を協会HPで広く呼びかけ、各国に情報提供を行うなど、早期の展示内装準備を促進していく。

報告事項 6

会場建設費の執行状況の件

会場建設費の執行状況について（2023年11月末）

案 件 名	①			②	③
	契約済 (2023年11月末)	前回比 (2023年9月末)	前回からの進捗内容	今後契約予定	総合計 (①+②)
大工区 (PW3工区、GW工区整備 他) ※全工区の施工環境整備含む	841億円	+1億円	現場環境対策（雨水排水）等に 伴う変更契約【南東工区】	443億円	1,284億円
主要施設 (大・小催事場、迎賓館、テーマ館 他)	230億円	+18億円	休憩所等施設（8施設）の 整備に係る契約締結	65億円	295億円
土木工区 (会場基盤整備)	99億円	±0	更新なし	33億円	132億円
インフラ設備 (電気・熱供給、通信、警備設備 他)	203億円	+2億円	通信設備工事に係る会場幹線 追加に伴う変更契約	75億円	278億円
交通施設 (会場外駐車場等整備 他)	83億円	+23億円	会場外駐車場建築物等の整備 に係る契約締結	91億円	174億円
環境評価、委託関係	52億円	±0	更新なし	5億円	57億円
合 計	1,508億円	+44億円	—	712億円	2,220億円

※一部、端数調整有

④予備費：(2,220億円) の約6% = **130億円**

合計 (③ + ④) : **2,350億円**

報告事項 7

資金計画（運営費）の素案に関する件

資金計画（運営費）の素案に関する件

資金計画（運営費ほか）を定めることについて、理事会に素案の報告を行い意見を求める。

1. 資金計画（運営費ほか）の全体像について

- 協会全体の資金計画として、会場建設費以外に運営費のほかに協賛事業、政府からの受託事業がある。
- 運営費予算は、1,160億円（2019年12月BIE登録申請書 809億円から+351億円）
- 従前より管理費削減に努力するとともに、運営参加など運営費削減に寄与する協賛獲得を実施している。引続き支出抑制とともに、営業施設からのロイヤリティ収入拡充等により収入増加に取り組んでいく。
- 協賛事業についても企業・団体・公営事業者との間で会場整備・運営の協賛に向けた協議を重ね、今般827億円（うち契約済725億円）を見込んでいる

収入（億円）		支出（億円）	
入場券売上	969	運営費	1,160
その他収入	191		
運営費収入計	1,160	運営費支出計	1,160
協賛収入（資金・現物）	827	協賛事業	827
受託収入※	299	受託事業※	299

※受託事業は、増額・事業増加する予定があります。受託元からの予算措置を勘案し、以下基準で記載しております。

【内訳】：①日本館事業：約30億円（契約基準→政府予算では他受託先と混在の為）

②途上国支援：約70億円（政府予算計上基準で記載）

③会場内の安全確保：最大199億円程度（政府予算計上基準で記載）

資金計画（運営費）の素案に関する件

2. 運営費の推移について

【支出】

①人件費等の上昇によるもの +220億円
 ・人件費に係るもの +214億円
 ・財・サービスに係るもの +6億円

②環境変化・計画変更によるもの +131億円
 ・環境変化への対応経費 +95億円
 ・その他経費(消費税、BIE納付金) +36億円

【収入】

①入場券売上 +267億円
②その他収入 +84億円
 ・ロイヤリティ等収入 +48億円
 ・施設利用料、公営競技等収入 +36億円

2023年12月時点
 (資金計画)
1,160億円

2019年12月時点
809億円

収入	支出
その他収入107億円	会場管理費 295億円
入場券売上 702億円	事業運営費 151億円
	営業関係費 83億円
	輸送管理費 129億円
	管理関係費 151億円

収入	支出
その他収入 191億円	会場管理費 560億円
入場券売上 969億円	事業運営費 155億円
	営業関係費 95億円
	輸送管理費 143億円
	管理関係費 207億円

会場管理費は、主に会場運営費、ICT関連費、安全対策・施設管理費、来客対応費
 事業運営費は、主に共創事業費、催事費、テーマ事業費、参加国関係費
 営業関係費は、主に広報宣伝費、入場券関係費

輸送管理費には、主に来場者輸送費
 管理関係費には、主に協会管理費、租税、BIE関連費用